



王南通信

令和4年7月20日 第21号

HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



楽しかった1学期。2学期も心は一つ。



畠田学舎のみんなへ

みなさん、義務教育学校での1学期が終了しようとしてします。5年生から9年生までの新たなメンバーで過ごした4か月あまりでしたが、どうでしたか。それぞれの学年ごとの行事や部活動などもおおむね予定どおり終えることができました。5年生の野外活動が延期になったことは残念でしたが、楽しみが2学期にのびたと考えておきましょう。

5, 6, 7年生は、もと王小と南小のメンバーが出会い、新しいメンバーでの学校生活でした。8, 9年生もクラス編成替えが行われ、新しい学級でスタートしています。うまく友達関係や人間関係はつくりえていますか。学校には様々な性格や考え、得意不得意のある仲間が集まっています。おしゃべり好きな人、自分を出すのが苦手な人、積極的な人、控えめな人。でも、気持ちよく一日一日の学校生活を過ごしたいという願いは、みんな同じです。誰もがその人なりに毎日を気持ちよく過ごすことができる、そんな学級や学校にするためにどうすればいいか。何より大切なのは、互いを尊重することです。

「彼も人なり、我も人なり」という言葉があります。「彼（人）にできることは、同じ人間なのだから自分にもできないはずがない」という意味で、努力しようという言葉です。でも、私はこの言葉を、彼も私も同じ人間で、互いにいいところも欠点もある。だから彼のいいところを認めよう、彼の欠点は、自分にも同じように欠点があるんだからなるべく大目に見よう、そんな意味にとらえています。

それが人を尊重するということだと私は思っています。相手を尊重するためには、相手のよさを認める。と同時に相手に欠点があれば、同じように自分も欠点をもつ人間として許せることは許し、許せないことはきちんと伝えていく姿勢をもつことが大切です。学級の仲間には、誰にも長所と短所があります。短所ばかりが目につくときは、なるべく長所も見ようようにしたり、短所が見方によっては長所になるかもしれないと考えたりする心をもてると素敵です。自分のことも同じです。短所は見方によっては長所になります。飽きっぽいのは好奇心が旺盛だということですし、優柔不断なのは何事にも慎重だということです。そして、自分にあるよさ、長所をしっかりと自分で認めてあげてほしい。自分自身のよさを認め自分を大切にすることが、他者を認め他者を大切にすることにつながります。

互いを尊重し、みんなが気持ちよく楽しく過ごせる学校を、2学期もつくっていきましょう。

さて夏休みです。今、私は短所も見方によっては長所であると言いました。それもありますが、一方で自分の欠点を自分で直すように努力することも大切です。飽きやすく集中できないのも長所だと自分を甘やかすだけではなく、そこでしっかりと自分をおさえ、集中して学習に取り組むことも大切です。夏休みに継続して取り組んだ成果は、必ず後になってあらわれます。直前に詰め込む学習もダメとはいませんが、すぐに成果としてあらわれなくても、本当の力は少しずつ時間をかけて育てられるものです。夏休みにそれぞれが頑張った成果は、自分自身の力として2学期以降に必ずあらわれてきます。ついでさぼりたくなる自分の弱さもしっかり向き合って、少しずつ着実に力を蓄える夏にしてほしいと思います。特に、最高学年である9年生のみんなには、義務教育の最後の夏休みを大切に過ごしてほしいと思います。焦らずじっくりと力を蓄え、自分の苦手な教科や領域が少しでも克服できるよう、心からのエールを送ります。

最後に二つお願いをします。一つは安全に過ごすこと。必ず2学期、全員元気な姿を見せてください。そのための注意は、各学年、学級で聞いていると思います。

二つ目は、本を読むことです。私は、本は別の世界への入り口だと思っています。本を読むことで、本の中の世界に行き行って冒険をしたり人と出会ったり、知らないことを知ったり感動したりすることができます。読み終わって本の中の世界から戻ってきたとき、自分のまわりのいろいろなものがこれまでと違って見えたり、違って感じられたりすることがきつとあると思います。ものの見方や考え方や、感じ方を、広げたり深めたりすることが人間として一生成長し続けていくために必要なことです。多くの人との出会いや経験がそのために大切になりますが、出会う人の数や経験には限りがあります。だけど本の中での出会いや経験には限りはありません。本の中での出会いや経験が自分の未来を決めたり、ずっと大切にしていきたい考えを与えてくれたりすることがあります。私もそうでした。今も私にとって、読書は大きな楽しみの一つであり、自分を成長させる大切な学習であると思っています。ちょっとした息抜きとしてでもいいです。どんな本でもいいです。是非、本を手にとってほしい。素敵な1冊と出会う夏にしてくれることを願っています。

それではみなさん、すてきな夏休みを。2学期、互いにさわやかな笑顔で会いましょう。

カボチャのつるが…… (2)

1年生では2学期の道徳に「かぼちゃのつる」のお話があります。なんと、お話どおりになりそうなつるが……。お話を読んでごらん(^-^)

